

～支援を通して大切にしている事 NO.1～

私は、支援を行う上で大切にしていることが3つあります。まず一つ目は、利用者さんが困らないよう事前の準備、確認を怠らないことです。これについては、支援を行う上で至極当然のことですが、支援者も人間であるため抜けてしまうことがあります。それを防ぎ且つ利用者さんがストレス少なくスムーズに過ごすことが出来るよう自分の中で習慣化して行なっています。二つ目は、決められたルールを崩さないことです。（一貫性のある支援）これについては、状況等により変わってくることもありますが、基本的に誰が対応しても同じ支援を提供出来ることで利用者さんが安心して過ごすことが出来るため大切であると思って心掛けています。三つ目は、地域生活を行う上で自立的に取り組めることを一つでも多く獲得出来るよう目標に近付けることです。（将来を見据えた支援）支援在りきでの地域生活をしていく上であっても手洗いや排泄等の身辺的なもの、買い物スキル等様々なものがようになってきます。それらを一つでも多く獲得に近付けていくことが大切であると思っています。これら以外にも大切なことはたくさんあると思いますが、私の支援の根幹にある利用者さんが困らないようにという考えをこれからも持ち続け支援を行なっていきたいと思います。

生活支援員 弓場元 敬義

～支援を通して大切にしている事 NO.2～

私が支援で大切にしていることは、3つあります。

1つ目は、そしあるの理念でもある家族の前でも出来る支援です。福祉の施設は虐待が起きてしまう可能性が高く、職員一人一人が常に気持ちに余裕を持ちながら支援を行うよう意識して支援しております。

2つ目は待つ支援です。利用者の方が次の行動に移動する際には、職員が言葉掛けを必要以上にすることなく、利用者の方のタイミングを待ち支援するよう意識しております。

3つ目に利用者の方が楽しんでそしあるで過ごして頂けることです。利用者の方が好む余暇や活動を模索しながら提供させて頂いています。又、その日の調子によって環境の配慮や利用者の方同士の距離間に気をつけ過ごして頂いています。利用者の方がご自宅に帰ってからも落ち着いて過ごせるような支援を行っていきます。これからも利用者の方と一緒に楽しく、過ごしていきたくと思っています。今後とも、よろしく願いいたします。

生活支援員 高橋 美澄

★新任職員紹介★

9月1日からそしあるで働かせて頂いている大金幸斗と申します。前職は10年ほど介護の現場で働いており、障害分野は初めてで分からない事が多いですが、利用者様が楽しく過ごして頂けるよう、一生懸命頑張っていきます。これからよろしくお願い致します。



収穫をしましたー♪

行動障害軽減の鍵は・・・

行動障害者に対する支援に対して抵抗のある事業所が多い中、そしあるでは多数の受入れをしております。行き届かない部分も多々ありますが、そしあるの職員は日々考えて行動しております。今回は普段職員がどんな事を考えてどんな工夫をしているのかお知らせします。

そもそも行動障害がなぜ起きるかの原因を知ることを考えなければ、暖簾に腕押しと成り兼ねません。しかし、その原因が分かれば、行動障害は必ず軽減します（勿論、痛み止めのように即効性のある物はありません）利用者さんの困り感を少しずつ理解し、特性に応じたオーダーメイドの支援を確立する必要があります。ここで勘違いされて欲しくない事は、人員配置において、手厚くしているからマンツーマンによる支援が可能という訳ではなく、その時々に応じてマンツーマンで付いて支援した方が良いか否かを判断しながら対応する事としています。

そしあるでは、利用者さんの昨日と今日の違いに気付けるような観察力を養う訓練をします。行動障害が起きている時の報告において、私からの返答は「で？」としか言いません。「何が原因と思うか」を考えていない場合にはアドバイスは送りません。この繰り返しから、それぞれの特性を考え、この事が原因ではないか？と推測を立てるようになります。そこからようやく支援の入り口に立つこととなります。その後、色々な職員と協力し、Aプラン、Bプランといくつかプランを考え試してみます。結果、推測してきた事が正しかったか否かを検証し、駄目だった場合には、アセスメントの時点で間違っていたのではないかと考えてプランをやり直していくのです。このプロセスが大切で、1人の利用者さんの為に皆で考えて意見をまとめる作業が、とにかく時間のかかる作業となります。このめんどくさい事を丁寧に行った結果、行動障害が減少していきます。利用者さんの為に準備が多ければ多いほど、利用者さんは変化していきます。勿論、すぐに効果が出るものではありませんが、確実に前進していきます。

行動障害の原因の多くは環境によるものです。この環境は、物や人も同様ですが、多くの場合、職員の行動や言動、関りが問題になる事も多いのです。私達が彼らの刺激にならない事と、一人一人の特性をしっかりと共有する事。そして、チームで考えて行動することが何よりも大切である事が分って頂けるのではないかと思います。

私が最も大切にしている事は、上記の支援を繰り返してもらう為に「職員のプライベートを充実させる事」です。これは、私が配慮する一番大きな部分ですが、この配慮から職員のゆとりが生まれ、めんどくさい支援の組み立てに対して、手抜きせず、利用者さんに優しく専門家として関わられる環境が出来ると信じています。職員に余裕のある職場は良い支援に繋がります。職員にゆとりがない職場では、利用者さんの行動障害を責任転嫁する傾向が強いと思っています。最近行動障害が増えてきたと感じた場合には「安藤が職員への配慮が足りないんだな！」と、職員に対して「疲れていませんか？」と労をねぎらって頂ければ幸いです。

私の結論として、「行動障害軽減の鍵は管理者の職員への配慮です」。行動障害を引き起こさせる要因は職員かもしれませんが、その職員への配慮を十分行わない管理者の責任が一番大きいのです。正しい知識やスキルを持った職員がいたとしても行動障害はなくなりません。管理者の十分な配慮からより良い職場環境が生まれ、より良い支援がチームが確立した結果、行動障害が軽減すると私は思います。

サポートセンター そしある
 理事長 安藤 学

そしあるアドレス	そしあるHP
そしある固定電話:0985-77-8817 そしあるFAX:0985-77-8818 そしある携帯①:080-5245-5677 そしあるPCアドレス:sosiaru@mivazaki-catv.ne.jp そしある携帯アドレス:sosiaru80-78@softobank.ne.jp	http://npo-social.com どしどしアクセスしてください。 ご相談のある方は、 いつでもご連絡下さい。